

ご自由にお持ちください



病院名は、キリスト教徒で医者の守護聖人として
される聖ルカにちなんで名づけられました。

St. Luke's

聖路加国際病院広報誌 セントルーカス 2023. 9 VOL. 50



特集

肺がんをはじめとした肺の病気に 内科と外科が連携し、最善の治療を提案します

P8／病院からのお知らせ P9／セントルーカスレシピ P10／気軽にエクササイズ

P11／聖路加国際病院の登録医紹介

<https://hospital.luke.ac.jp/>

広報誌St.Luke'sはウェブサイトからもご覧いただけます→



肺がんをはじめとした肺の病気に 内科と外科が連携し、最善の治療を提案します



聖路加国際病院の呼吸器センターでは、呼吸器内科と呼吸器外科が常に相談し合える環境のなか、一人ひとりの患者さんにとって最善の治療を提供しています。肺の機能が低下している患者さんや基礎疾患のある患者さん、高齢の患者さんの肺がん治療も、肺がん疑いのまま経過観察を続いている患者さんも、そして肺がん以外の肺の病気の患者さんも、どうぞご相談ください。

肺がん治療の変化

呼吸器センターで診ているのは、呼吸器、つまりは肺の病気です。肺がんをはじめ、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、肺血栓塞栓症、喘息、肺炎など幅広い病気を、

呼吸器内科と呼吸器外科が診療科の垣根を越えて密に連携をとりながら治療にあたっています。

「患者さんにとっては自分の病気が内科系の病気なのか、外科系の病気なのか、必ずしもわかりません。呼吸器センターに来ていただければ内科で診たほうがいい病気は内科の先生に、外科で診たほうがいい病気は外科で：と、適切な治療を

受けただけることがいちばんのメリットです」と、呼吸器センター長の板東徹は語ります。

そのなかで、肺がんについては「聖路加では人間ドックをはじめCT検査を精力的に行っているので、早期の段階で見つかることが多いのが特徴です」と板東センター長。

早期の肺がんの場合、基

本的に、手術が第一選択になります。肺がんの手術と聞くと、もしかしたら大がかりな手術で術後が大変というイメージをお持ちの方もいるかもしれません。でも、「特に早期の肺がんの手術は、体への負担の少ない治療で完治をめざすことがで



きるようになってきていて、昔に比べて大きく変わつてきています」と小島史嗣医師は話します。

がんの場所を特定して確実に、小さく切り取る

では、肺がんの手術はどうに変わってきたのでしょうか？小島医師は「今まで肺の2分の1、3分の1という単位で切除をしていましたが、今は、少なくとも10分の1単位、もしくはさらに細かい区域で切除することも増え、大部分の肺を残せるようになっています」と説明します。

肺は、右肺は3つ、左肺は2つの「肺葉」と呼ばれる部分に分かれています。その肺葉ごとに切除するのが「肺葉切除」、それよりも小さな部分で切除する方法を「区域切除」と呼びます。ステージ1の中でも早期の

肺がんの場合、区域切除で手術をしたほうが生存率が良いことが、日本とアメリカの大規模な臨床試験によつてそれぞれ明らかになつたのが昨年のこと。その結果を受けて、全国的に区域切除での手術が増えていますが、聖路加では以前からより小さく切除し、肺を温存する「縮小手術」に取り組んでいました。

ただし、そのためにはさまでがんの工夫が必要です。一つは、がんのある場所を正確に特定し、残すところと切り取るところを明確にするための「マーキング」です。聖路加では、呼吸器内科と呼吸器外科が連携して早い時期から取り組んでいます。具体的には、気管支鏡を使って肺の表面に色素をまき、その色素とがんとの位置関係をCT画像などで把握する方法と、「シュアファインド」という電子タグを

小さく切り取り、なるべく肺を残すことと同時に、聖路加では肺がんの手術の

8K内視鏡とロボット手術で小さなキズで精緻な手術を

使って正確な場所を把握する方法を、患者さんに応じて使い分けています。いずれにしても、手術前に内科と外科の共同チームで”目印”をつけ、その目印を頼りに切り取ることで、がんのある部分を正確に、なおかつできるだけ小さく切除しています。

9割以上を「胸腔鏡手術」で行っています。そのため、体の表面のキズも小さくなっています。

大きく切り開く開胸手

術とは異なり、胸腔鏡手術では、数か所の小さなキズから細長い器具を挿入して、手術を行います。

この胸腔鏡手術での区域切除をより正確に、精密に行うために、聖路加では8Kの超高解像度の内視鏡や手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しています。

経過観察中の方も早い診断が可能に

このようなさまざま工

長い器具で細かい操作をすることは難易度が高いもの。それをカバーしてくれるのが、ダヴィンチです。

また、ダヴィンチは操作性を高めてくれるツールです。細長い鉛筆の上のほうをもつてきれいな字を書くことは難しいのと同じで、細

長い器具で細かい操作をすることは難易度が高いもの。それをカバーしてくれるのが、ダヴィンチです。



副院長 呼吸器センター長
呼吸器外科部長
相談支援センター長
がん・ゲノムセンター長

板東 徹

薬物療法は内科医、手術は外科医とちゃんと役割分担ができていることもいいところだと思います。

て手術をしているようなもの」と、小島医師は表現します。拡大鏡で見ているような超高解像度の画像をチームで共有しながら手術をすることができます。区域切除では、その区域につながる血管のみを選んで切除するなど、より細やかな手術が求められます。そのため、見たい部分を拡大して見られることは大きな助けとなるのです。

夫によって「早期の肺がんを、より小さく的確に手術できるようになってきました」と小島医師。

そのことは「内科医としても大きなメリットがあります」と話すのは、呼吸器内科の西村直樹医師です。

最近、CT検査の診断技術が高まったことで、早期の肺がんの可能性がある小さな「すりガラス状結節」が見つかることが増えています。

すりガラス状結節とは、CT検査で見つかる、淡いすりガラス状の陰影のこと。初期の肺がんである場合があります。

ところが、内科的に気管支鏡で内側から検査をするには小さすぎて診断が難しく、かといって、手術で切除して診断するには侵襲（体へのダメージ）が大きくなるため、「大きくなってしまったかどうか経過観察をしましょう」と、3ヶ月に一度や

1年に一度CT検査を受け

ながら様子を見ることがしばしばあります。ただ、それでは患者さんは不安を抱えたまま過ごすことになります。

「縮小手術で小さく切除してもらうという方法が可能になったことで、より早く診断と治療を兼ねて手術を受けてもらえるようになりました。それは内科としてもありがたいです」と西村医師は話します。

手術と薬の組み合わせはここ数年で大きく進歩

早期の肺がんの場合は手術でがんを確実に取り除くことがいちばん大事ですが、一方で、「コロナ禍で検診の受診率が下がったことが報道されているように、検診控えによって以前に比べると進行した人が増えている印象があります」と板東セ

ンター長は話します。

進行した肺がんの場合には、手術、放射線治療、薬物療法を組み合わせて最大限の効果を出す「集学的治療」が行われます。このうち、薬物療法には化学療法、免疫療法（免疫チェックポイント阻害薬）、分子標的療法（分子標的治療薬）の大きく3つがあり、「手術と薬物療法を組み合わせると非常に効果があるというエビデンスが次々に出て、ここ

1、2年の間にその組み合わせが非常に進歩しています」（板東センター長）

具体的には「術後補助免疫療法やある特定の遺伝子をもつ人には術後補助として分子標的治療薬を3年間使うことも保険適用になりました。また、術前に化学療法と免疫療法を併用する化学免疫療法なども行われるようになっています」と西村医師は説明し

ます。

このように治療の組み合せが複雑になっているからこそ、欠かせないのが内科と外科の連携です。

「内科と外科が一緒に治療方針を決めてあげないと、患者さんが正しい治療の場を奪われてしまう可能性があります」（西村医師）

内科と外科の垣根の低さはお互いの信頼関係

治療選択でまず大事なのはエビデンスです。ただ、

「エビデンスはこうだけれど、この患者さんの場合は

「内科で困っていると外科の先生が『外科にできることはないかな』とすぐに来てせん。

「内科で困っていると外科の先生が『外科にできることはないかな』とすぐに来て

…といったイレギュラーケースもある。そうした相談をすぐにできる垣根の低さがあります」と、呼吸器内科の仁多寅彦医師は話します。

その”垣根の低さ”的背景には、毎週行っている内科と外科合同の症例検討会や、病棟も内科と外科が同じで普段から話しやすい環境にあることなども寄与していますが、いちばんはお互いの信頼関係なのかもしれません。



呼吸器内科

西村 直樹

出身大学も出身地も違ういろいろな人が集まり、毎日“他流試合”をすることで、より良い方法を学び合い、新しい文化が生まれているのかなと思います。

「だからこそ自分たちも外科で何かあったときにはすぐに対応しようと常に思っています」と内科の仁多医師が話せば、外科の小島医師も「初診の患者さんですぐに検査をしたほうがよさそうな方がいれば、すぐにお願いできる関係性があります」と話します。「いつも相談しても相談に乗ってくれて、嫌な思いをした経験がありません。板東先生、小島先生だからこちらもがんばらなければと思します」と話すのは西村医師。

基礎疾患のある方、
高齢な方、肺機能が低下
している方も
こうした連携は肺がん
治療に限りません。



呼吸器外科 小島 史嗣

肺を取る量が減ったこと、傷が小さくなっこことの2つのメリットで、肺がんの手術はずいぶん変わってきています。

「つい先日は、気胸で苦しんだ患者さんが内科的治療で行き詰った瞬間に外科の先生方から外科的治療の提案をいただきすぐに手術をしていただきました。な

おかつ、基礎疾患があり肺機能が低下している状況に十分に配慮して、体への負担の少ない方法を提案して

いただいたので、短期間でご自宅に帰ることができました」と、西村医師はある患者さんのケースを紹介します。

さらに、垣根が低いのは、呼吸器センター内だけではなく、院内全体に共通すること。あらゆる領域の専門家がいて、すぐに相談し合える関係があるからこそ、

糖尿病や循環器疾患などの基礎疾患をもつ患者さん、高齢の患者さん、あるいは間質性肺炎やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）などで肺の機能が低下している

あなたの肺がん治療について一緒に話し合う 外来

患者さんなどでも、標準治療に近い肺がん治療を提案することができます。そのことも、聖路加の肺がん治療の特徴です。

現在、西村医師を中心となつて、肺がん患者さんのための外来診療を始めようと考えていました。キャッチフレーズは「信頼できる医師とあなたの肺がんの治療についてゆっくり時間をかけて話し合ってみませんか」「突然、肺がんと診断され、気持ちの整理が付かないまま、一方的に『こういう治療法でいいましょ』う」と告げられて、治療がスタートすることもあると思います。でも、十分に納得できていないと、不幸な結果

になることがあります」(西

村医師)

新たに始めたいと思つて

いる外来の対象は、肺がん

と診断を受けて聖路加での治療を考えている方、あるいは肺がんの濃厚な疑いがある方の初診やセカンドオピニオンです。特に、基礎疾患があるためにがん治療ができないと言われて困っている方、集学的治療が必要で治療法に迷われている方、わずかな胸部異常が見つかり経過観察を続けていたりなどに来ていただき、その方にとつてより良い方法を一緒に話し合っていくような外来にしたいと考えています。

「時間をかけて話を聞いてほしいという患者さんはいらっしゃると思うのです。ただ、毎回の診察に時間をとることは現実的に難しいので、初診のときだけでもしっかりと話し合って、患者さ

んが納得して治療を始めていただけるようにしたいと思つています」(西村医師)

肺がん以外の肺の病気も多職種で幅広く対応

聖路加の呼吸器センター

では、肺がん以外の肺の病気にも広く対応しています。肺栓塞栓症のような循環器疾患から、喘息のよ

うなアレルギー疾患、肺炎やコロナのような感染症、そしてCOPDまで、肺の病気にはさまざまな種類があります。その一部に特化するのではなく、「すべてに良質に対応できるのが強みかなと思っています」と、

(吸入器)を使いますが、その機械の説明も薬剤師と看護師が連携して行っています。

「それぞれの病気の最新治療について、看護師、薬剤師をはじめ、各職種が勉強して、積極的に協力していくからこそ、新しい治療法や薬を取り入れることができます。なつかつ、こちらが気づかないところまで気づいてカバーしてくれるのが、結果として最先端の良い治療ができる。多職種の意識の高さが聖路加の強みであり、患者さんにとってもメリットになっていると

思います」(仁多医師)

肺がんも、肺がん以外の肺の病気も、呼吸器内科と呼吸器外科、そして他の診療科や多職種が連携することにより良い治療を提供できるよう努めています。お困りのことがあります。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



呼吸器内科

仁多 寅彦

外科と内科でうまく連携できている空気感が患者さんにも伝わっているからこそ、途中で外科と内科で主治医が変わっても安心して治療を続けていただけだと思います。



部長就任のご挨拶



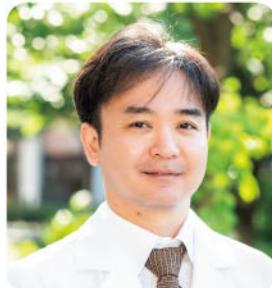
泌尿器科

遠藤 文康

4月より部長を拝命しました。来年60周年を迎える伝統ある泌尿器科を今後も一層発展させられるよう尽くしてまいります。

我々は、現在、主に手術を中心とした診療を提供しています。幅広い範囲の疾患に対応し、良性から悪性までほぼすべての泌尿器科領域で、先端の医療を提供するための設備と優れた医療スタッフに恵まれています。当科は悪性疾患に対するロボット手術はもちろんのこと、女性泌尿器科、結石内視鏡手術、前立腺肥大症手術などの分野でも特色ある低侵襲治療を積極的に行っていきます。

また、泌尿器科救急についても万全の体制を整えておりますので、安心して診療を受けていただけることと思います。今後もよろしくお願ひいたします。



乳腺外科

吉田 敦

～“安心感”を与える存在であり続けるために～
　　今年度より乳腺外科部長を務めさせていただくことになりました。

皆様が安心して受診できる存在であるプレストセンターの使命と文化を継承し、「乳がん」と診断され、ご不安な気持ちになっているすべての患者さん、そしてそれを支える方々のお力になれることが我々チームの使命と思っております。また、臨床と研究のクオリティを高め、日本全国から集まる優秀な人材を育て、送り出すことを目標としております。

いつでも皆様からご相談頂ける、信頼される、安心感を持って頂けるチームを目指し、これからも精進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



川島 明次

本年7月より聖路加国際病院に脳神経外科部長として赴任致しました。脳血管障害や良性脳腫瘍の手術を専門に 東京女子医

科大学に20年以上勤務、途中、ドイツやフィンランドで研鑽を重ねてきました。特に、もやもや病、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、頸動脈狭窄症、顔面けいれん、三叉神経痛、髄膜腫や神経鞘腫などの脳腫瘍に対する手術を専門にし、脳動脈瘤手術1200件、脳血管バイパス術1500件など豊富に経験しております。

無駄なく、最小限の切開で完治を目指し、必要に応じて、カテーテル治療や放射線治療を組み合わせて治療計画を立てていきます。また、「自分の家族なら、どうする」を自問しながら温かみのある医療を心がけております。質の高い脳神経外科治療を、より多くの方に提供していきたいと考えております。お気軽にご相談下さい。



临床检查科

寺脇 博之

今年度より臨床検査科
部長として聖路加国際病
院に戻ってまいりました

私は1991年に聖路加国際病院で医師生活を開始し、当時の院長・日野原重明先生のもとで内科チーフレジデントを務め、地下鉄サリン事件への対応などを経て複数の大学病院で研鑽を積みました。2017年からは帝京大学ちはば総合医療センター腎臓内科の責任者(教授・腎センター長)を務めておりましたが、ご縁がございまして故郷にあたる当院に戻った次第です。

当院の臨床検査科は日本で最初に設立された伝統ある部門です(1925年設立)。当部門の誇る世界レベルのクオリティ(ISO 15189認定)の更なる向上はもとより、日野原院長時代を知る「聖路加育ちの医学部教授」の経験を活かし、石松院長率いる当院の新時代に向けて微力を尽くす所存です。

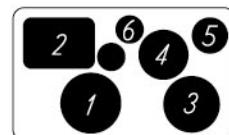
St. Luke's Recipe

セントルークスレシピ 9月1日の昼食レシピ



レシピのポイント!

豚ヒレ肉はビタミンB1を多く含む食品です。
身はやわらかく脂肪も少ないので
アレンジがしやすい食材です。
付け合わせは季節に合わせて変えて
旬の野菜やきのこなどで
お楽しみください。



〈1人分〉

エネルギー 576kcal たんぱく質 26.9g
脂質 5.4g 炭水化物 100.5g 塩分 2.2g

1 ごはん

金芽米(1人分) 200g 【エネルギー 336kcal たんぱく質 5g 脂質 0.6g 炭水化物 74.2g 塩分 0g 〈1人分〉】

2 豚フィレソテー おろしのタレ

- | | | | |
|-------------|---------------------|------|---|
| 材料
(2人分) | 豚ヒレ肉 | 140g | 作り方
①大根はすりおろし、水気を切りドレッシングとあえて冷やしておく。 |
| | 食塩 | 0.2g | ②いんげんは適当な大きさに切り茹でておく。ミニトマトは半分に切る。 |
| | 胡椒 | 少々 | かいわれ大根は根を落とし半分に切る。 |
| | 植物油 | 2g | ③豚ヒレ肉はかたまりのまま塩と胡椒を振り、熱したフライパンに油を敷き |
| | いんげん | 30g | 豚ヒレ肉をいれ焦げ色をつける。中火に余熱したオーブンに肉を入れ中 |
| | ミニトマト | 25g | まで火を通し、焼き上がったらアルミホイルに包み落ち着かせる。 |
| | かいわれ大根 | 6g | ④豚ヒレ肉を一口大にカットし皿に盛り②の野菜を添える。 |
| | 大根 | 60g | ⑤食べる直前に①のタレをかける。 |
| | ノンオイル
ドレッシング柚かつお | 30g | |

*家庭では豚ヒレ肉を一口大にカットし塩と胡椒を振り、フライパンで焼き上げてもよいでしょう。

*ドレッシングはポン酢・和風ドレッシングなど好みの物へ、かえてください。

3 盛り合わせサラダ

【エネルギー 34kcal たんぱく質 0.7g 脂質 2.1g 炭水化物 3.9g 塩分 0.3g 〈1人分〉】

- | | | | |
|-------------|-----------------|-----|---|
| 材料
(2人分) | レタス | 60g | 作り方
①ゴボウは薄くさがきにし、素揚げにし、油をよく切り冷ましておく。 |
| | 水菜 | 20g | ②レタスは適当な大きさにちぎり、水菜は4cm位に切る。 |
| | 赤パプリカ | 20g | パプリカは薄切りにする。 |
| | 黄パプリカ | 20g | ③②を混ぜ皿に盛り、①のゴボウを上に飾る。 |
| | ゴボウ | 10g | ④食べる直前にドレッシングをかける。 |
| | 素揚げ用油 | 4g | |
| | ノンオイルドレッシングフレンチ | 20g | |

4 胡瓜の塩もみ

【エネルギー 8kcal たんぱく質 0.6g 脂質 0.1g 炭水化物 1.9g 塩分 0.5g 〈1人分〉】

- | | | | |
|-------------|-----|------|------------------------------------|
| 材料
(2人分) | 胡瓜 | 120g | 作り方
①胡瓜は薄切りにしAの塩でもみ水分を切っておく。 |
| | 食塩A | 0.4g | ②大葉は千切り、生姜は針生姜にし、それぞれ水に放しあくを抜き、水気を |
| | 食塩B | 0.6g | 切っておく。 |
| | 生姜 | 2g | ③胡瓜・大葉・針生姜を合わせBの塩で和え、皿に盛る。 |
| | 大葉 | 1g | |

5 フルーツ オレンジ (正味50g)

【エネルギー 31kcal たんぱく質 0.5g 脂質 0.1g 炭水化物 5.9g 塩分 0g 〈1人分〉】

6 飲物 ジョアライト・マスカット

1本 【エネルギー 51kcal たんぱく質 3.1g 脂質 0.1g 炭水化物 8.8g 塩分 0.1g 〈1人分〉】



気軽にエクササイズ

リラックス効果も期待できる！～呼吸筋ストレッチ～

今回は、呼吸苦などを生じる呼吸器疾患に対して行う呼吸筋ストレッチを紹介します。このストレッチは胸の動きを改善させ、呼吸をしやすくする効果があるため、呼吸器疾患をお持ちでない方が実施してもリラックス効果などが期待出来ます。下記のQRコードから動画も確認出来るので、是非ともご活用ください。

①息を吸いながらストレッチ

1-1 肩すくめ



息を吸いながら肩をすくめ、息を吐きながら肩をおろします。

2-1 背伸び



両手を組んで、息を吐きながら天井に向かって手を伸ばして背筋を伸ばしましょう。

2-2 臨腹ストレッチ



片手を頭の後ろに置き、息を吐きながら上半身を横に傾けましょう。

1-2 胸伸ばし



両手を重ねてみぞおちの少し上に置き、動かないように押さえておきます。そのまま、息を吸いながら胸を伸ばすように反らしましょう。

2-3 胸張りストレッチ



両手を後ろで組んで、息を吐きながら肩甲骨を寄せるように下に引きましょう。

1-3 背中伸ばし



両手を組んで、息を吸いながら背中を丸めるように手を前に伸ばしましょう。

ポイント・注意点／

- 運動と息を吸う/吐くを合わせて行いましょう。
- 各ストレッチの回数の目安は8-15回です。
- 姿勢に注意し、息を止めないように数を數えながら実施して下さい。
- 主治医から制限されている運動は実施しないで下さい。

「自宅で出来る！おうちリハビリ！」シリーズ

リハビリテーションセンターのホームページや動画配信サイトにて、様々な運動を紹介しています。
是非ご活用ください！！



ホームページ



YouTube

動画配信サイト



リハビリテーション科
理学療法士 真下 翔太

呼吸ケアクリニック東京

診療科目 呼吸器内科

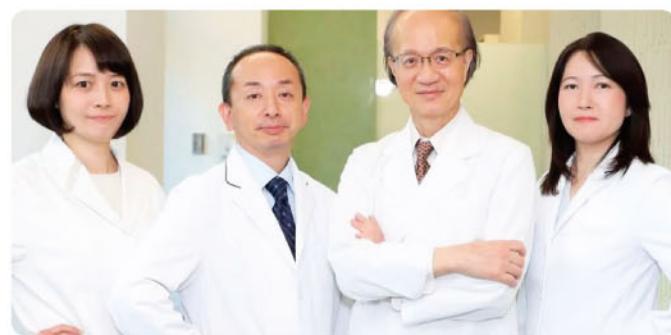
木田 厚瑞 先生 / 茂木 孝 先生

当院は、令和元(2019)年4月に開院し、関東地区を中心に北海道から九州地区まで広い範囲の患者さんに受診いただいている。前身は、木田が2003年に創設した「日本医科大学呼吸ケアクリニック」を引き継ぐ形ですが、さらにその元は、東京都老人医療センター(現、東京都健康長寿医療センター)で「包括的呼吸ケア」を基本とする臨床経験がもとになっています。

当院では4人の呼吸器内科医が共同で働いており、呼吸器疾患全般を対象疾患としています。在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、CPAP療法など医療機器を使用した専門性の高い医療を含む重症から軽症までの慢性呼吸器疾患を中心とし、必要に応じて多職種が連携して患者教育に力を入れ、つねに適切で必要な検査を実施しています。

日本でプライマリケアと大病院との地域医療連携策が進められる中、当院はその中間に位置するクリニックとしての対応を進めています。特に慢性呼吸器疾患は、肺だけではなく心血管病変や糖尿病、など多種多彩な病変を伴っていることが多いので必要に応じて専門医に紹介し、共同で日常診療を進めています。

前述のように慢性呼吸器疾患は、多彩な病変を診ることがあるため、中央区にある信頼できる総合病院として、貴院にはほぼ全診療科のご協力をいただきました。ご紹介した多くの患者さんからも感謝の言葉をいただいているため、今後も医療連携を強くしていきたいと考えています。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00 - 16:30 (月・木~18:30)	○	○	○	○	○	○	/

休診日：日曜日、祝日

住所：〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-5京橋YSビル1階

TEL：03-6263-2143 URL：<https://www.rcc-icr.com/>

アクセス：JR東京駅から(徒歩8分)

東京メトロ銀座線「京橋」駅から(徒歩6分)

都営地下鉄浅草線「宝町」駅から(徒歩3分)

東京メトロ「日本橋」駅から(徒歩6分)



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 13:00	○	○	○	○	○	○	/
15:30 - 18:30	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日

住所：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-10

ユニコム人形町ビル1階

TEL：050-3146-4285

URL：<https://ningyocho-cl.com/>

アクセス：人形町駅(東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線)から徒歩3分

水天宮前駅(東京メトロ半蔵門線)から徒歩3分



内科総合クリニック人形町

診療科目 内科、高血圧内科、糖尿病内科、循環器内科、脂質代謝内科、薄毛

院長 藤田 英理 先生

多忙なビジネスパーソンが多くいらっしゃる日本橋人形町の近くで開院することで、高血圧や糖尿病などのコモンな慢性疾患だけでなく、潜在疾患まで見落とさずに診断出来るクリニックを目指しております。

開院に至った経緯としては過去に「もっと早い段階で介入出来ていたらこんなに悪くなかったのではないか」と思う患者さんに多く出会ったためです。腎臓内科後期研修の後、市中病院で経験を積む中で、血管炎・膠原病などの自己免疫疾患やクッシング症候群・原発性アルドステロン症などといった「医師が疑わなければ診断に辿りつけない疾患」が見過ごされてきた事例を目の当たりにしてきたことをきっかけに、総合内科専門医を取得しました。

現在当院では、コモンな疾患・症状の型通りの診療だけではなく潜在疾患を念頭に必要なスクリーニングを行い、高度医療機関への精査紹介を積極的に行っております。一例として二次性高血圧疑いの方では早朝安静時採血を行っています。また多忙なビジネスパーソンに向けて、睡眠時無呼吸症候群疑いに対する簡易PSG検査や、ホルター心電図などのスクリーニング検査を積極的に行っております。慢性疾患の方には十分な患者教育を行い、患者さんが疾患を理解した上で主体的に治療に取り組めるよう配慮しています。

貴院にはいつも丁寧に診て下さっていると感じています。

ご寄付のご報告 (2023年2月1日~2023年6月30日) ※一部、期間外の方々を掲載する場合があります。

ご寄付をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいたご寄付は、ご芳志に沿って大切に使用させていただきます。

金額	名前
105,000,000	荒井 喜八郎様
15,000,000	聖路加同窓会様
各 3,000,000	青木 康子様、赤津 慎太郎様
2,000,000	大野 直竹様
各 1,000,000	井部 俊子様、木下 幸代様、鈴木 恵美子様、那須 雄治様、株式会社博進紙器製作所様
500,000	平本 成彦様
350,000	渡邊 義登様
300,000	中島 未知様
200,000	Class of 1982様
110,000	森 明子様
各 100,000	IFA法人MK3株式会社様、赤坂 恭司様、朝倉 英昭様、鈴木 文夫様、柳澤 久美子様、渡邊 重様
各 50,000	伊藤 麻理子様、井上 信忠様、高橋 佐由美様、津和 孝亮様、船田 千佳様
各 30,000	小澤 雅美様、中嶋 久喜子様
各 20,000	聖路加国際病院 小児病棟親の会リンクス様、平山 温子様、源 外吉様
12,000	川津 泰人様
各 10,000	小川 弥生様、学校法人聖公会盛岡こひつじ学園 仁王幼稚園様、野田 洋子様、松本 麻美様、村山 由佳様、弓削 経夫様
3,000	森田 亜紀子様
1,000	直井 小百合様

この他、匿名39名の方々からご寄付をいただきました。

合計 242,731,640円 【本表には、聖路加サポートーズ募金は含まれておりません。】

リサイクル募金 聖路加きしゃばんにご支援いただいた方々

今津 さゆり様、國師 万倫子様、小泉 珠江様、國領 妙子様、中島 優奈様、前田 靖子様、益田 恵淑様

上記の他、匿名希望7名の方々から、ご支援いただきました。ありがとうございました。

ご寄付に関するお問い合わせは、学校法人聖路加国際大学 募金室(03-5550-2368)

聖路加国際病院を運営する学校法人聖路加国際大学が、引き続き広く社会に貢献するとともに医療・看護の発展に寄与できますよう、多くの皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

聖路加国際病院の理念

This hospital is a living organism designed to demonstrate in convincing terms the transmuting power of Christian love when applied in relief of human suffering.

Rudolf B. Teusler (1933)

キリスト教の愛の心が
人の悩みを救うために働き
苦しみは消えて
その人は生まれ変わったようになる
この偉大な愛の力を だれもがすぐわかるように
計画されてできた生きた有機体がこの病院である

ルドルフ・B・トイスター (1933)

学校法人
聖路加国際大学の理念

この法人はキリスト教精神に基づき、社会の情勢に適応する医療・看護・保健福祉・公衆衛生にかかる教育を授ける私立大学および医療施設、ならびにその他の教育研究施設の設置・運営を通じ、人類へ奉仕することを目的とする。

聖ルカ礼拝堂竣工記念礼拝報告

2023年4月28日、聖ルカ礼拝堂
竣工記念礼拝が行われました。

日本聖公会武藤謙一首席主教、
日本聖公会東京教区高橋宏幸主教をはじめとする聖職に司式を執り行っていたとき、礼拝堂の再開を祝しました。当日は当法人オルガニスト就任記念として「J.S.バッハ」



前奏曲とフーガ変ホ長調BWV552が後奏に演奏され、莊厳なオルガンの音色がアーチ形の高い天井に響き渡りました。

礼拝の様子はYouTubeでライブ配信され、多くの皆さんにご視聴頂きました。引き続きアーカイブ配信も行っておりますので、ぜひご覧ください。

アーカイブは
こちらから

編集
後記

9月17日はWHO(世界保健機関)で制定された「世界患者安全の日」です。昨年に引き続き、当院の患者安全への取り組みを紹介するイベントを9月15日(金)に開催しました。次号では各部署の積極的な取り組みをご紹介する予定です。ぜひご覧ください。



聖路加国際病院

〒104-8560 東京都中央区明石町9-1
TEL.03-3541-5151(代) <https://hospital.luke.ac.jp/>

エコプレス
バインダー

針金・糊・加熱が不要な製本方法で環境に配慮しています



環境にやさしい米ぬか油を使用したインキで印刷しています



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C175464